

やつおもて

第14号 (2017年1月)
編集発行：和田公民館
協力：公民館運営推進委員
電話：(45-1918)
eメール:wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

かきねの かきねの
まがりかど～

たきびだ たきびだ
おちぼたき～



明けましておめでとうございます。新しい年の初めをどのようにお過ごしでしょうか？今年の干支は酉ですね。未来に向かって大きく羽ばたく1年になりますように願っています。(つぬ)

【和田の歴史コーナー】

今回から和田地区にある神社の紹介をします。

◆八幡宮とは・我が国最古の八幡宮は、大分県の宇佐八幡宮である。

初め農耕の神として祭られ、その祭りには、多くの「のぼりばた」をたてて、豊作を祈っていたので、「やはた」の名が起こり、これに八幡という漢字をあてたので、「はちまん」と呼ばれるようになったのだという。(比和の自然と歴史第1集)

≪和田八幡宮≫

◆鎮座地 旭町大字和田字七谷山

◆祭神 応神天皇 仲哀天皇 仁徳天皇

(石見社寺案内には、応神天皇、仲哀天皇、神功皇后の三神が祭神とある)

◆創建 1243年(寛元元年)

◆由緒

本社の勧請については、数枚の棟札に相州鎌倉から勧請したことを伝えている。

その勧請事情を一番詳しく書いているのは、二宮寿三蔵の「和田山根系譜の略記」と、1748年(寛延元年)の棟札である。棟札によると、1242年鎌倉の戦いにおいて福屋某が利を失い、この神に祈願し神助を得て開運したので、1243年和田村に八幡宮を建てたとある。「和田山根家系譜の略記」には、「鶴ヶ岡八幡宮を和田村七谷山に勧請し、本殿及び数殿を経営し領分四十余村の総鎮守とし多くの社田を寄付して福屋家の氏神と定め山根好兼を持って神主とし…」とある。

現在、この八幡宮に、2羽の鳩が八の字形に向かい合った形の額がある。この地方にこのような額を掲げた宮は他にない。よって和田八幡宮を別名「鳩八幡」と呼ぶのだと伝承されている。

また、この神社にはこの地方の他の神社にみられない山門が残っている。華麗な山門を持つ神社は他にもあるがこの宮のものは素朴である。神宮寺の伝承もあり興味深い文化遺産である。茅葺きであった神殿及び拝殿を昭和6年銅板葺きと瓦葺に改めた。拝殿に比べて神殿の大きいのが特色である。(旭町誌上巻より抜粋)

つぬです！



服部一恵さん 表彰おめでとうございます！



島根県で80歳で20本の歯を保とう「8020運動」の普及啓発を目的として実施された「8020 良い歯のコンクール」において服部一恵さん（本郷）が表彰されました。服部さんは、毎日朝・昼・晩3回の歯磨きを欠かさずやっておられるとのこと。

「元気な歯」の秘訣ですね！

続いては和田地区に伝わる伝説のコーナーです



和田の牛淵

—「防六をあおぎて」より—

～後編～

前は雨乞いの役に一人の後家さんが手を挙げたところまででしたね！
さあ、続きはどうなるのでしょうか～

すると即座に秀さんが口を出した。「そのツラでその歳じゃあのオ」「何を言いんさる」と怒った後家さんを「まあまあ、怒らんで！」と長老がなだめた。しばらく思案顔だったが・・・
「そうか！！怒らしゃあどうだろう！」

「牛の死骸を掘り出してあの淵に投げ込んでみるんじゃ、そうすりゃあ水神様が怒って出てくるかもしれんでエ！」「そりゃあいい考えだ！」（この時代、本郷の往還沿いに「大はらげ」という場所があり病気で死んだ牛を埋めていた。）

そして、皆で掘り出した腐りかけた臭いの牛を戸板に乗せて運んで淵に投げ入れた。水神様がいるならこの汚い物を早く流そうと雨を降らすに決まっている。と皆は期待した。思った通りに三日もたたない内に雲が黒雲に変わりやがてポツ、ポツ！それはザンザン降りの大雨になり、めでたしめでたしと恵みの雨になった。

（文・絵 佐々岡健次）



私が重富にいた時も、雨の降らない年があつてね～
だからあの淵を「牛淵」というようになったのね！

冬のアメリカ

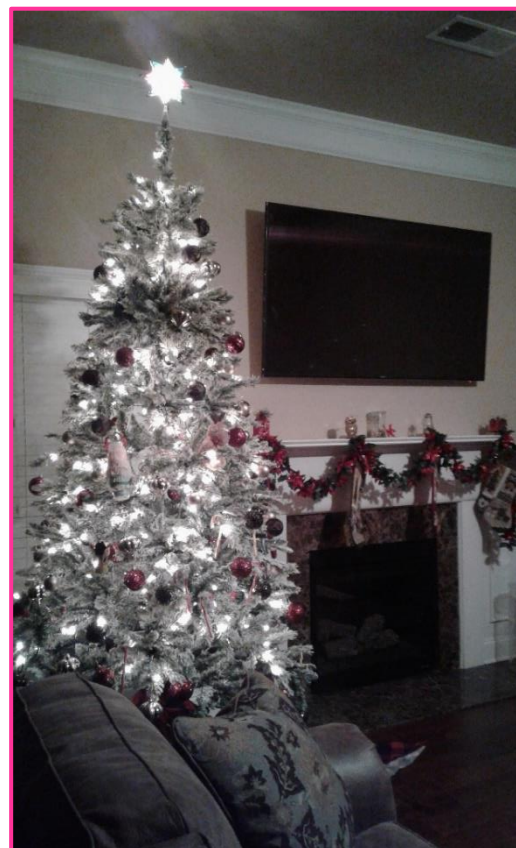
アメリカでは、クリスマスと正月を一緒にして「ホリデーシーズン」と呼びます。ホリデーシーズンは食べ物だけでなく、家の飾り付けを豪華にするのが習慣です。

クリスマスツリーは大きければ大きいほど良いと思われており、みな天井まで届くようなツリーを飾ります。そして、クリスマスツリーは通常元旦の後にしまします。

お正月が終わったら、人々は皆「今年の抱負は〇〇なんだよ」とお互い言い合って、どれだけ長く続けられるか頑張ります。でもほとんどの人たちは1月末までにあきらめてしまうことが多いです。

昨年お話したように、アメリカの南部やカリフォルニア、ハワイなどは冬でも暖かいので、日本のように寒いお正月ということはほぼないのですが、逆に慣れていない雪に見舞われるとどうしてよいかわからない人が多く、道路が異常に混んだり、空港が閉まってしまふこともあります。

私が住んでいるジョージア州は南部なので、今年の冬も例年のように暖かく、今のところ雪どころか雨も数回しか降っていません。ただベンソン家は寒いコロラド州に長く住んでいたため、雪のスポーツがジョージア州ではほとんどできないことを残念に思う今日この頃です！（文・写真 ベンソン塚崎陽子）



ベンソン家クリスマスの飾り付けです



募集のお知らせ

和田公民館では、今春に「ひな人形」を館内に飾り、皆さんに観て頂きたいと考えています。

皆さんのご家庭にお持ちの「ひな人形」「長浜人形」など新旧・種類は問いません。

最近飾っていないなあとか、ぜひ我が家のひな人形を見てほしいと思われる方など、出展に協力して下さる方を募集します。詳しい内容につきましては後日チラシにてご案内をしますので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

絶対に 人の考え 笑わない

館長の今月の一言

新年あけましておめでとうございます

ご家族皆様方、お揃いで輝かしい初春を迎えられた事と拝察申し上げます。昨年公民館活動に対しまして深いご理解とご協力を賜りましたこと、感謝に合わせ厚くお礼申し上げます。尚、本年も昨年同様何卒よろしくお願ひ申し上げます。

～春かすむ もののいひしは ^と解いつべし

山のつわると 見るにつけても 見るにつけても～

～神楽歌より～



次は

～つぬちゃんのこんなのやりましたコーナー～



旭中1年生の物づくり体験活動が行われました。活動は和田、市木、今市に分かれて行われ、和田地区の班は9月21日に「神楽の道具づくり」10月12日に「しめ



飾りづくり」を体験されました。両日とも初めて作る生徒さんが多く、最初は難しそうな表情でしたが地域



の方の指導でだんだんと表情も和らぎ笑顔が見えるようになりました。中学生の皆さんに地域に伝わる文化を知って貰い継承していけると嬉しいです。

あ と が き

12月18日毎年恒例の「寄せ植え教室」を開催しました。今年も迎春用の寄せ植えづくりを山陰植木鉢センターさんに教わりました。昨年の人権講演会で犯罪学専攻の立正大学教授小宮信夫さんが、「犯罪者は手入れをされた場所を嫌う」と話されました。家の周りで花を育てるのも身近な防災活動といえるのではないのでしょうか。「楽しみながら防災活動ができる」嬉しい事です。(美)